

令和6年度 学校教育目標及び経営方針

◆山口県教育目標

未来を拓く たくましい「やまぐちっ子」の育成

◆長門市学校教育基本指針

ながとに学び、未来に生きる

～知・徳・体の調和がとれた「生きる力」の育成～

◆日置みずゞ学園教育目標（学校教育目標）

豊かな心を持ち、主体的に活動する「日置っ子」の育成

めざす学園像 つながる学園 ～小中一貫・地域連携～

《めざす教職員像》

- 愛情豊かに子どもの育成に全力で取り組む教職員
- 自己研鑽に努め実践意欲あふれる教職員
- 協働して教育環境を整え活かす教職員

日置小学校のめざす教育

《めざす学校像》

- 明るく活力のある笑顔あふれる学校
- 互いに励まし支え合う気運に満ちた学校
- 保護者・地域とスクラムを組む学校

《めざす家庭・地域像》

- 子どもに豊かな愛情を注ぎ、見守り育てる家庭・地域
- 子どもの育つ環境づくりを学校とともに行う家庭・地域
- 子どもの課題を共有し皆で子育てをする家庭・地域

《めざす子ども像》

㊦ たばらず ㊦ づかいあう 「日置っ子」

（知）

考える子

進んで学び、積極的に考えを深め、表現する子ども

（徳）

明るい子

明るいあいさつができ、みんなと仲よく生活する子ども

（体）

たくましい子

自ら進んでチャレンジし、最後まで粘り強くやりぬく子ども

チャレンジ目標

もくもく学習

進んで、集中して、考える学習
一生懸命に取り組む学び

ほかほか言葉

明るいあいさつ
思いやるあたたかい言葉

どんどん運動

最後までやりぬく粘り強く
楽しく元気に体力づくり

学校経営の重点取組事項

学力向上

- ◇主体的に学ぶ力の育成
- ◇基礎学力の定着
- ◇学習習慣の確立
(家庭学習・読書習慣)

心の教育

- ◇みずゞさんのまなざしと感性を大切にしたい心の教育の充実
- ◇笑顔があふれ、居心地のよい学校づくり

生活改善

- ◇生活リズムの確立
- ◇運動習慣の定着と体力向上

地域とともにある学校づくり～子どもが地域の先生プロジェクト～

- ◇地域素材を活かした豊かな体験活動や栽培活動の充実
- ◇地域・家庭との連携
- ◇保・小・中・高連携及び一貫教育の推進

令和6年度 学校経営に関する重点取組事項

～『へたばらず きづかいあう 「日置っ子」』の育成に向けて～

長門市立日置小学校

「日置っ子の力と心を育てる」「精選と深化・進化」

I 学力向上に関する取組

もくもく学習

【具体的方策】

(1) 主体的に学ぶ力の育成

①学習規律の徹底

- ・「日置小学習の心得7カ条」の徹底に全校で取り組む。

②継続した授業改善

- ・校内研修の活性化（授業公開、研究協議）
- ・授業「日置小スタイル」の構築に向けて取り組む。
（振り返りの時間の有効活用、問題に取り組む時間の確保、主体的な学びに向かう学習課題の設定、導入場面の工夫、対話的活動（考えや意見を交流する場・伝え合う場）を取り入れた授業 等）
- ・既習の知識や技能を活かして考え行動する場面を設定する。
- ・一人一台端末（タブレット）や電子黒板などのICT機器の効果的に活用する。
- ・授業評価（児童、保護者、学校運営協議会）を活用する。

(2) 基礎学力の定着

①児童の学習状況の的確な実態把握

- ・全国学力・学習状況調査や県学力定着状況確認問題、やまぐち学習支援プログラムを活用する。
- ・全校体制での結果分析、課題解決（PDCAサイクルに基づく取組）に取り組む。
- ・漢字検定（2学期に日置みすゞ学園で希望者実施）や計算大会を実施する。

②補充学習の充実

- ・朝のみのりタイム（1，2年）や水曜日の全校みのりタイム、長期休業中、全校学習の時間など、時間を設定し、やまぐち学習支援プログラムに取り組む。
- ・クロムブックを活用した問題への取組を工夫して実施する。
- ・個に応じたきめ細やかな指導や個別の支援が必要な児童への配慮・指導に全校体制で取り組む。
- ・算数少人数専科（TT・少人数）による柔軟な取組や支援員の効果的活用を行う。

(3) 学習習慣の確立

①家庭学習・自学ノートの取組

- ・家庭学習の手引きの活用を啓発し、家庭との連携を図る。
- ・自学ノートの実践事例（自主学习によく取り組んでいる児童のノート）を紹介する。
- ・自学ノートを一冊完了して校長室に持参した児童の取組を賞賛する。

②読書習慣の形成

- ・朝読書（火曜日）や図書室、ぐるブックの活用を推進する。
- ・すてきなスイカようび（読み聞かせボランティア）やブッククラブ等を活用して、本に親しむ環境をつくる。
- ・学校図書館支援員を積極的に活用する。
- ・読書目標（1～3年生：100冊以上、4～6年生2000ページ以上）を設定する。

2 心の教育に関する取組

ほかほか言葉

【具体的方策】

(1) みすゞさんのまなざしと感性を大切にした心の教育

①道徳教育の推進

- ・考え議論する道徳を実践し、道徳的価値の理解を蓄積する。

②体験活動や栽培活動の充実

- ・米や野菜作りなどの地域の特色を生かした体験活動に積極的に取り組む。
- ・地域素材や地域人材を活用し、人とのふれあいを大切にした教育活動を推進する。
- ・学校・地域連携カリキュラムを活用し、日置みすゞ学園での共通の取組の充実させる。

③金子みすゞさんの詩の素読

- ・朝の会での練習と校長室での素読を実践する。

(2) 笑顔があふれ、居心地のよい学校づくり

①自己有用感が高まり、支持的風土で心が満たされる学級経営の実践

- ・安心して過ごせる学級集団をつくる。
- ・ほかほか言葉の掲示や実践を紹介する。

②あいさつ運動の推進

- ・ニコニコの日（毎月25日前後）に日置みすゞ学園全体で実施する。
- ・あいさつレベル4を浸透させ、みんなが笑顔になるあいさつを奨励する。

③いじめのない学校

- ・心のアンケートを毎週木曜日に実施する。
- ・全児童との教育相談（毎学期）を実施して相談体制を充実させ、SCや（効果的なカウンセリング）保護者との連携（情報共有）を密にする。
- ・縦割り班掃除（だまって）や仲良し班活動を充実させる。

3 生活改善に関する取組

どんどん運動

【具体的方策】

(1) 生活リズムの確立

- ①メディアコントロールウィークを毎学期1回日置みすゞ学園合同で実施
- ②生活リズムチェックを毎学期1回実施して活用（意識付けと振り返り）
- ③情報モラル研修会（参観日）等、生活リズムに関する研修会をPTAと連携して実施

(2) 運動習慣の定着と体力向上

- ①「どんどん運動週間」による取組（鉄棒、マット運動、ランニング、長縄跳び、投げ運動等）
- ②全校遊びや仲良し班遊びの実施（体育委員会の主体的な取組）
- ③体力向上プログラムや新体力テストの活用
- ④日々の給食指導を中心にした食育の充実（栄養教諭の派遣などによる食育の授業実践や給食委員会による取組、給食週間への取組）

4 地域とともにある学校づくりに関する取組

～子どもが地域の先生プロジェクト～

つながる

【具体的方策】

(1) 地域素材を活かした豊かな体験活動の推進

- ①学校運営協議会での熟議の実施（共有した学校課題への地域・家庭と三位一体となった取組）
- ②地域素材や地域人材を積極的な活用（地域のよさを味わうことのできる体験）
- ③学校支援ボランティア（環境・栽培・安全・学習）の活用
- ④子どもと地域のつながりをより深化させた実践

(2) 地域・家庭との連携

- ①積極的な情報発信（学校だより、学級通信、ホームページ、メール配信等）
- ②PTA執行部と連携したPTA活動の活性化（各部の活動や家庭教育学級の充実、一人一参加活動の取組）

(3) 保・小・中・高連携及び一貫教育の推進

- ①日置保育園や新入児、大津緑洋高校日置校舎との連携の充実
- ②小中連携推進デザインや連携カリキュラムの活用した日置みずぎ学園の取組の充実（小小連携、小中連携授業交流、生徒会児童会交流）

5 業務改善に関する取組

【具体的方策】

(1) 業務改善への取組

- ①「日置小スタンダード」（～当たり前のことを当たり前に～）の徹底
- ②校務分掌などの業務へのチームでの取組
 - ・主体的に役割分担をし、協働していく。（プロジェクト部会、備品や消耗品の管理を事務と協働、2日前までの起案、共有フォルダの活用、会議のスリム化、行事の精選、職員会議のペーパーレス化等）

(2) 時間外在校時間等の削減

- ・時間外在校時間の月平均時間45時間以下にする。（ICカード利用による勤務時間の管理、マイノー残業デー（月2回）、管理職やお互いの声かけ、メンタルヘルス、計画的な業務の遂行等）